

第2回 観音寺市民会館等建設検討委員会会議録【要約】		日時	平成23年8月25日（木）19:00～21:10
		場所	観音寺市民会館第4会議室
出席者	委員12名（欠席3名）、事務局4名		
議題	1 観音寺市新庁舎建設基本構想（案）について		
	2 観音寺新市民会館建設基本構想（素案）について		
	3 観音寺市新庁舎建設基本構想（案）答申について		
<p>1 開会 開会あいさつ</p> <p>2 委員長あいさつ 委員長あいさつ</p> <p>3 諮問書伝達 市長が所要により欠席となり、政策部長が委員長へ諮問書を伝達した。</p> <p>4 議題 (1) 観音寺市新庁舎建設基本構想（案）について 資料1により、4つの項目を設定し、委員の皆様にご意見を頂いた。</p> <p>◆ 利用者の視点 【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアや市民活動の団体などが利用できるスペースが出来るように感じられるが、これが実現すると、その活動をしている団体にとっては非常に期待される施設になると思う。 ・障がい者や高齢者などに配慮した段差の少ないバリアフリーに対応した庁舎にして欲しい。エレベータだが基本的に車椅子の利用者はエレベータに入るとバリアフリー新法による鏡を利用してバックで出て行っている。何故ならエレベータの中では回れないためにその鏡を利用して安全を確保しながら出入りを行っている。最近の駅では同じ方向に出られるように逆側が開いたりするエレベータもある。可能であれば取り入れて欲しい。駐車場のスペースだが、車椅子を乗せて運転しているかたは、駐車スペースにおいてドアをMAXまで開いて駐車しなければ乗り降りができないのが現状である。車の長さもあり、尚且つ後部に昇降用のリフトがあり、昇降時に1m程せり出すようになる。昇降用リフトを利用するとき、そこが交通の通りになっていることもあり、なかなか安全の確保ができていないのが現状である。広いスペースが必要になるが、安全を確保して欲しい。また、車椅子利用者は荒天時傘を持って車椅子の操縦ができないし、電動車いすの場合、雨がよろしくないのもあり、屋根があれば助かる。 ・地下に駐車場があると雨の問題も解決でき、スムーズに市役所へ行くことができる。 ・現在の庁舎において公用車を税務課の下に駐車している。そのような形での計画も可能ではないか？ ・現在の福祉センターや市民会館にある事務所機能を新庁舎には、すべて集約して欲しい。 ・先日高松へ行ったが市民課が分かりにくかった。 ・新庁舎は高く積み上げるよりも1階に市民に直接関係のある課やパブリックスペースを設置し高齢者、障がい者、児童等も利用できるようにして欲しい。 ・憩いの場となる庁舎とあるが、会議室の横に給湯室があるが、かなり狭いのが現状である。ぜひスペースの確保を願いたい。 <p>◆ 安全・安心の視点 【委員質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全は、要するに防災機能の充実だと思う。新聞等々であったが観音寺小学校建設位置であったように、観音寺は中洲であり、川の近くに建設予定地となってしまう。高知が津波対策の見直しを行っているが、今度の新庁舎建設においてどのような浸水被害を想定しているか話を聞きたい。 <p>【事務局回答】</p> <p>観音寺市の津波は、南海地震が連動したM8.6を想定している。 香川県への津波の進入口は、鳴門海峡1,400m、明石海峡3,900mの隙間を超えた波が燧灘に面した観音寺市に来ると想定され、また高さは最大76cmと想定される。</p> <p>昭和南海地震で、高松で観測した津波は最大43cmで25分で水位が上昇した。 東北の津波のイメージがあるが、そのような波は、観音寺市では想定していない。</p>			

南海大地震では、4時間45分後に観音寺市に第一波の波として20cm以上の波が到達する予定です。

国が防災計画の見直しとあるが、本市において大きくは変更はないと考えられる。

新庁舎は、それに耐えられるだけの庁舎、また災害時の防災拠点施設として活用できる庁舎を考えている。

中央構造線断層帯では、二千年に1度は、大きな地震が発生すると言われているが、それが原因で津波が来るとは想定されていない。

南海地震によって、県が行った護岸工事で、それを越えた波が押し寄せてくるとは想定していない。

◆ 経済性の視点

【委員意見】

・平成27年度の職員数により面積を算定しているが、何年かしてこんなに大きな建物が必要なのではなかったのではないかと、言われないか？

・事務室の面積は現在の本庁機能分、総務省算定基準、国土交通省基準どれをとっても大差はないが、会議室と交通部分に大きな差がある。このあたりを減らせることができるのではないか？

・コンパクトシティを目指すのなら市役所もコンパクトにまとめる必要があるのではないかと思う。また、そういう努力をするべきである。

・先をみると想像の世界になるが、柔軟的な対応ができるようにして欲しい。たとえば将来を見据えて利用用途の変更を容易にできるようにして欲しい。

・展示スペース等については市民会館を建設するのだから、重複した施設を整備せずに、そこを利用する方法もある。

・コスト的な問題もあり、無理に庁舎を閉庁時に利用する施設は考慮する必要がある。

◆ 環境の視点

【委員意見】

・豊浜で地中熱を利用した施設がある。行ってみると快適であった。1階だけでも取り入れて欲しい。

委員が発言した意見等の議事録を作成し、意見を集約する。その集約したものを答申書の素案とし、委員に発言の趣旨等を確認していただき、修正や追加を行う旨を説明して議案1は終了とした。

(2) 観音寺新市民会館建設基本構想（素案）について

観音寺新市民会館建設基本構想（素案）を参考に構想を説明した。

基本構想（素案）を持ち帰っていただき、第3回建設検討委員会の開催において、協議をすることで議題終了とした。

(3) 観音寺市新庁舎建設基本構想（案）答申について

答申書（素案）について、委員に確認を願い承認を頂いた。

委員長、副委員長が後日、市長へ答申に行くことを確認した。

(4) その他

・議事録について

要約版議事録等の公開を委員に了承を得た。

・大ホール閉館について

備品整理等の準備もあり平成24年12月末での閉館を説明した。